

環 境 報 告 書

2026 年 5 月報告

ふりがな	きょうどうでんきこうぎょうかぶしかいし や	認定 ランク	マスター
事業所名	共同電気工業株式会社		
認定部門	☒ ゼロカーボン推進部門 ☒ ごみ減量推進部門 ☒ エコ・コミュニティ部門		
概 要	所在地	長野県松本市大字島内3648番地9	
	代表者名	逢沢 文夫	
	事業規模 (主な事業内容 ・従業員数)	役員6名、従業員5名 建築物に係る総合電気設備工事業	

○ 環境に配慮した取組みの内容

環境に対する理念・方針	建設業界の中でも、3Rや産業廃棄物の減少、分別等環境へ対する意識が強くなってきています。その中でも私たちは電気という分野で環境配慮への取り組みを重点的に強化していきます。そして社員の環境配慮への意識を高め一人一人が個で行動し、周囲へ波及していけるようになること。
環境に関する取組目標	・CO2削減を毎年3%目標に減らしていく。 ・環境配慮をしているボランティア団体への参加。 ・社員一人一人が環境配慮に心がけた行動をとる。 ・環境配慮をした製品の積極的な活用。 ・環境配慮に取り組む企業との連携。
具体的な取組内容	・産業廃棄物の分別をし、再資源化できるものを増やす。 ・節水、節電を積極的に行う。 ・照明器具をLED化し、省エネによるCO2削減。 ・クールビスの実施。 ・高機能冷暖房を導入し、温度管理にもよる省エネを実施。(夏場28℃、冬場23℃) ・社用車の燃費管理を行い、一人一人がCO2削減を心掛けている。 ・年1回、近所の外来種の植物の駆除を行っている。 ・年1回、重要文化財の清掃を行っている。 ・グリーン購入製品の積極的活用。

	・電気、水道、ガソリン使用量の管理。 ・ハイブリット車の台数を増やす。 ・使い捨てプラスチックの削減。 ・リユース品の活用。 ・ペーパーレス化の推進、裏紙印刷、両面印刷を行っている。 ・地区の環境整備への参加。 ・事業所に花壇を設置し、花いっぱい運動に取り組んでいる。
実施結果（成果）	・クールビズの実施（空調服など涼しい作業着を積極的に購入）で夏場の冷房温度を一定に保てている。 ・ハイブリット車の導入で、ガソリンの使用量が減少している。 ・裏紙、両面印刷、ペーパーレス化で印刷用紙の購入量の減少。 ・事務用品等、グリーン購入品が増え続けている。 ・社員一人一人の環境意識の変化。（各現場での廃棄物の分別化で再資源化できる資材の増加） ・植物の世話をする人が増えた。
課題・問題点と その改善に向けた取組み	・年々気温が上がっており、燃費改善に心がけているが、社内のエアコン使用量が増え改善が難しい月がある。社内の温度管理が容易に出来るようなアイテムがあれば積極的に購入したい。 ・外来種の駆除をしているが、年々生える箇所が増えている気がする。生態系をもっと理解した駆除方法の模索が必要。 ・全体的に言えるのが、現場の距離や受注量により年単位で換算するとズレがあるので成果の大きい年と悪い年がある。細かい単位での管理が必要。
その他、 アピールポイント等	・近年CO₂削減という意識が高まってきていると実感しています。電気の分野での省エネ、CO₂削減等の相談も増えてきておりますので、気軽にご相談いただければお力になれると思います。